

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束において、事故防止のために2F出入り口は、終日施錠している。 事故防止のため、4点柵をしている。	利用者が落ち着き、要望にこたえ外出できる。 4点柵から3点柵にできる。	月に1度、カンファレンスで身体拘束解除に向けての話しあいを行う。要望を聞き外出の機会をもつ。	12ヶ月
2	35	災害時に対して、地域の方の協力を得られる体制が取れていない。	災害時に地域の方の協力を得られる。また、災害時に地域の方の拠点になる。	運営推進会議にまず、区長、民生委員の参加を促す。夏まつりなどの行事の際に地域の方が参加できるような工夫をする。	12ヶ月
3	2, 4	地域の方との交流が持てていない。	運営推進会議や、行事を通し地域の方との交流を図ることができる。	区長、民生委員の方には引き続き、参加を呼び掛ける。如水会としても地域の方との交流が持てる行事を行う。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。